

南小たば風通信 2018

平成30年9月11日（火） 第17号

平成30年度 南が丘小学校 公開研究会 全体会の記録

9月5日（水）の研究会の開催にあたり、綿密な準備、何度も書き直した指導案、直前までの授業準備、全体発表の準備、会場の準備作業等、本当にお疲れ様でした。

前日（当日早朝）までの台風の影響、さらには公開研後の深夜には震災による被害と、自然災害の恐ろしさを改めて感じた忘れられない公開研となってしまいました。

さて、今号では、公開研の全体会での記録をご報告します。今後の研究や授業づくりに参考にいただければと思います。

☆学校力向上に関わって【 山本 雅樹 主幹教諭 】



【質問】（七重小学校の先生）

学校力向上に関わっての質問。たくさんの取組を行っていると思うが、取組を進めるにあたっての出発点の段階で行った課題の共有の仕方の工夫はあるか？

また、職員が同じベクトルを向く工夫はあったか？

【回答】

・まず全員でやってみましょう！というスタンスを大切にしている。研究も初めて取り組むスタイルを全員でやってみて検証している形を継続している。

・核になる先生がいて、サポートする先生、異動者、初任者も含め、全員でやって成果を出しつつ、課題が出たら、1年単位で進めて1年、半年のスパンで見直して修正している。

【質問】（七重小学校の先生）

学校マネジメントをするうえで、何か留意している点はあるか？

【回答】

初任段階が多い学校なので、本校に何が必要なのかを実地把握し、年度の途中でも取組の修正を行っている。→改善できるものは早期改善。（朝学習等の実例もある。）

☆校内研究に関わって 【 三上 牧子 研究部長 】

【質問】（七重小学校の先生）

昨年度、行った道徳の研究の成果と課題は？

【回答】

・成果…授業の進め方がわかって、授業を構成する事ができた。

“南小7つの工夫”をもとに授業づくりをした。評価補助簿の活用もした。

教科化に伴い、どの先生も授業ができるようになった。

・課題…展開後段の議論をさせるパターンが複数あるが、どのように議論させる場を盛り上げていけばいいか、研究を通して話し合いを重ねた。

【質問】（江差北中学校の先生）

- ・CRTの結果が高学年になるにつれ、低くなる要因は何か考えられるか。
- ・研究アンケートで『わかりやすい』と多数の回答があるが、その反動で考える事が少なくなっているのでは？

【回答】

- ・学年が上がるにつれ、問題が長い文章になって難しくなっている。読書が嫌いになる傾向があるので、長い文章に慣れるための読書活動を位置づけ、習慣として身につけさせていく。
- ・書き方がわからなくて書けない子がいるので、そこに向けた手立ても必要。

【質問】（厚沢部小学校 松村教頭先生）

・若い教員が多いが、中堅、ベテラン教員に対する人材育成、どのような方法と成果があったのか？

【回答】

- ・詳しくは電話でのちほど…（笑）
- ・教材研究を含め、課題に向かって動ける教員が多い。
- ・職員には、役割を含め、モチベーションの上がるような言葉をかけている。



【指導主事 齊藤 真寛様 指導助言】

- ・協議の中でたくさんの論点が出ていた。働き方改革…なども。
- ・強いヒントとしてのキーワード…『重点化』。単元の目標の明確化が重要。目標を“書くこと”に絞っていて、今求められる国語の授業の一つとして提示していた。
- ・国語は、“話す・聞く”が伴うので難しいが、単元として“書く”ことをメインに構成していたことが素晴らしい。単元の後半に書く活動があるため、話す・聞くに時間を取られなかった。子ども達に書くことを印象付けさせることが大切にしていた授業だった。
- ・新聞の見出しだけ読む、飛ばし読み、斜め読み… 知っていて悪い事ではないので、今日のように目標を書くことに絞るのであれば、様々な読み方を活用できる授業だった。
- ・みんな構成メモを書けていた。次につながるはず。
- ・めあて→まとめ、ふりかえりのつながり（相互関係）を大切に。

【主 査 三浦 浩平様 指導助言】

- ・国語の授業として、今求められている国語の授業に沿って行われた授業だった。
- ・授業者以外のメンバーも含めて、同じ方向を向いて、何度も何度も指導案を作成したことだろうと想像できる。
- ・異動者が多い中、研究を持続しているのが素晴らしい。
- ・色々な話が出るのはいい授業だったという証拠。

・国語は、目標ありきの教材。学習活動に即した振り返りをするためにどうしたらよいかを考えて、授業を構成してほしい。

・真似してほしい南小のポイント

①国語の教材研究…教材文を読み込むことが教材研究ではない。

目標があって、指導事項があって、単元計画を考えていく事が教材研究。

②単元構成…単元の目標を子ども達と共有し、見通しをもたせていて素晴らしい。

単元計画を理解していると、先を見通した学習ができる。

③T T…どちらがT 1， T 2がわからないような授業だったことが良い。

子ども達にも2人で授業していることが伝わる。

指導案には、T 1， T 2となくとも今日のように阿吽の呼吸のできるのであれば、T 1、T 2の役割は記載していなくても良い。



☆今後の授業づくりの糧にして、
日々の実践に活かしていきましょう！

☆次号では、2年生と5年生の授業の事後研の
記録についてお伝えする予定です。

